

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成24年 6月25日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県蒲郡市港町2番5号

氏 名 竹本油脂株式会社

代表取締役社長 竹本 元泰

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0533-68-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	竹本油脂株式会社 亀岩工場
事業場の所在地	愛知県蒲郡市浜町11番地
計画期間	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	09:食料品製造業
事業の規模	平成23年度製品出荷額 1,018,300万円/年
従業員数	90人
産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1 製造工程と産業廃棄物発生フロー 参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
(管理体制図)						
別紙 - 2 産業廃棄物管理組織図 参照						
別紙 - 3 産業廃棄物総括責任者等の氏名 参照						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
現状	【前年度(平成23年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃プラスチック	動植物性残さ	木くず
	排出量	22 t	819t	158t	542t	7 t
	(これまでに実施した取組) ・動植物性残さは、新たに有価物(飼料)用途への展開ができ、産廃としての処理量が大幅に減少できた。 H.21年度の動植物性残さ排出量 1,540t H.22年度の動植物性残さ排出量 653t					
計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃プラスチック	動植物性残さ	木くず
	排出量	22 t	800t	140t	510t	5 t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥を補助燃料用の有価物としての展開を検討する。 ・廃プラスチックの一部を再生プラスチック原料(有価物)への展開を進める。 ・木製パレットを樹脂パレットに変更し、木くず発生量を減らす。					
産業廃棄物の分別に関する事項						
現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油、汚泥、廃プラスチック、動植物性残さ、木くずなどに分別保管している。					
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。					

(第4面)

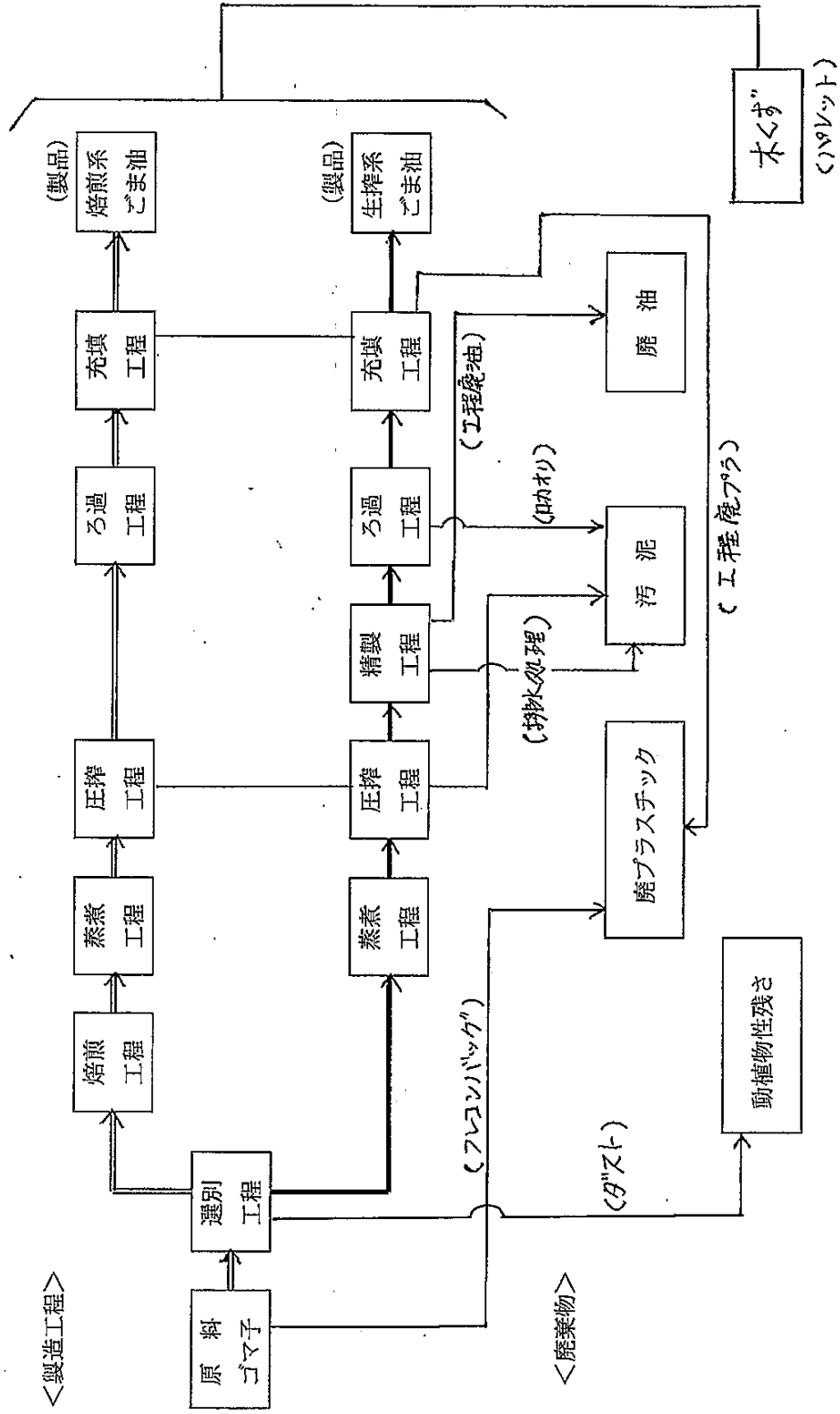
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
現状	【前年度(年度)実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		- t			- t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。					
計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		- t			- t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
現状	【前年度(平成23年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃プラスチック	動植物性残さ	木くず
	全処理委託量	22t	819t	158t	542t	7t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	254t	124t	509t	7t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。					

計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥	廃プラスチック	動植物性残さ	木くず
	全処理委託量	22 t	800t	140t	510t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0t	0t	0t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	248t	110t	479t	5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0t	0t	0t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0t	0t	0t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者を選定する。 ・処理委託業者には定期的実施状況の確認を行う。					
事務処理欄						

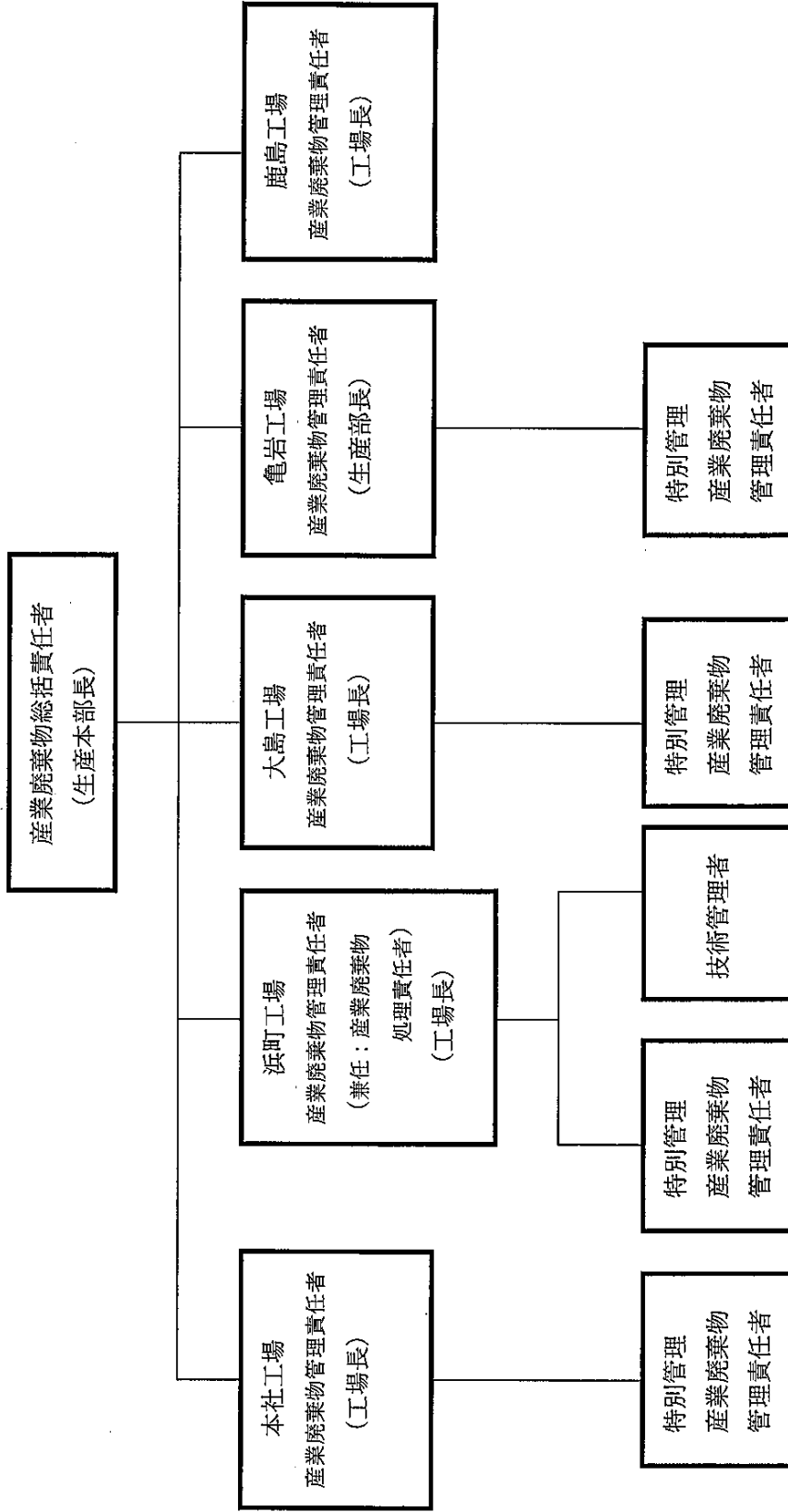
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

別紙-1：製造工程と廃棄物発生フロー



産業廃棄物管理組織図



別紙-3：産業廃棄物総括責任者等の氏名

(安全衛生規定集 No. 2 法定選任者名簿より抜粋)

法律	選任職務	選任年月日	氏名
産業廃棄物処理法	産業廃棄物 総括責任者 (本社、浜町、亀岩、大島)	07.02.05	藤井 吏
	同 管理責任者 本社	06.08.01	杉浦 雅人
	同 管理責任者 浜町	07.11.01	渡邊 正
	同 管理責任者 大島	04.12.17	尾崎 龍彦
	同 管理責任者 鹿島	10.03.15	皆藤 誠
	同 管理責任者 亀岩	06.05.16	小川 彰
	同 処理責任者 浜町	07.11.01	渡邊 正
	同 技術管理者 浜町	02.08.13	大片 博生
	特別管理産業廃棄物管理責任者 本社	06.08.01	杉浦 雅人
	特別管理産業廃棄物管理責任者 浜町	07.11.01	渡邊 正
	特別管理産業廃棄物管理責任者 大島	04.12.17	尾崎 龍彦
	特別管理産業廃棄物管理責任者 亀岩	99.02.18	齋藤 欣也